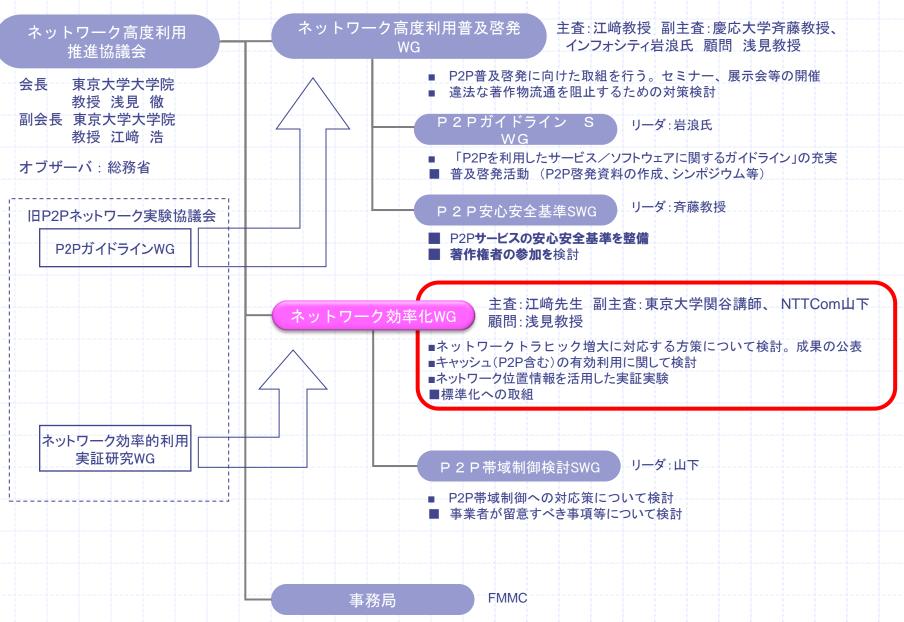
NW効率化、地域コンテンツキャッシュ

NTTコミュニケーションズ株式会社 小崎、井上、山下





ネットワーク高度利用推進協議会



■ 協議会全体の運営に係る事務作業(主体的な活動は各WGで策定・実施)

ネットワーク効率化WGの目的

○ 我が国のブロードバンドサービス契約者のダウンロードトラヒック総量は推定で1.45T(テラ^{*2})bps。この1 年で約1.2倍(17.8%増)となった。また、アップロードトラヒック総量は推定で872.4Gbps。集計以来初めて 減少した。

636.6

(2010.5) 1453.7

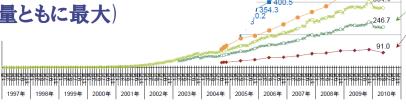
最近のトラフィック動向

我が国のインターネットトラヒックの推移(平均)

■ 総務省がインターネットトラフィック総量推計値を発表

• バックボーンのトラヒック状況

- 総量はこの1年間で1.2倍、ここ1年は多少鈍化、
- 日変動(ピークと底の差)が減少→P2Pの比率は低下?
- コンテンツの流れ方
 - 海外流入が増加(増加率・総量ともに最大)



1453.7Gbps (推定) 我が国のブロードバン

契約者のダウンロード

トラヒック総量

参考)国内主要IXで交換され

るトラヒックピーク値*3 国内主要IXで交換される

平均トラヒック[C]*3 協力ISP6社の国内主要IXで

- 交換されるトラヒック〔B1.Out〕 (*1) 1日の平均トラヒックの月平均
- 交換されるトラヒックの集計値に

▶本WGの目的

- ネットワークを守りつつ、コンテンツ流通を促進するためには、トラフィックの急増 <u>をある程度押さえつつ(1)</u>、同時に<u>大量のトラヒックをさばく事が可能なアーキテ</u> クチャを作る(2) 必要がある。
 - (1)に対する取組み
 - 帯域制御
 - (2) に対する取組み
 - キャッシュ、コンテンツルーティング

さらなるネットワーク効率化の取り組みについて



商用P2P普及のための ネットワーク効率化 Youtube,ニコ動など httpトラヒック Winny、Share など草の根P2P

ヒントサーバ

キャッシュ、CDN (改正著作権法) 帯域制御 (帯域制御ガイドライン)

取組

ヒントサーバによる 商用P2P効率化 キャッシュ適用による 効果の実証

商用P2Pと帯域制御 との共存

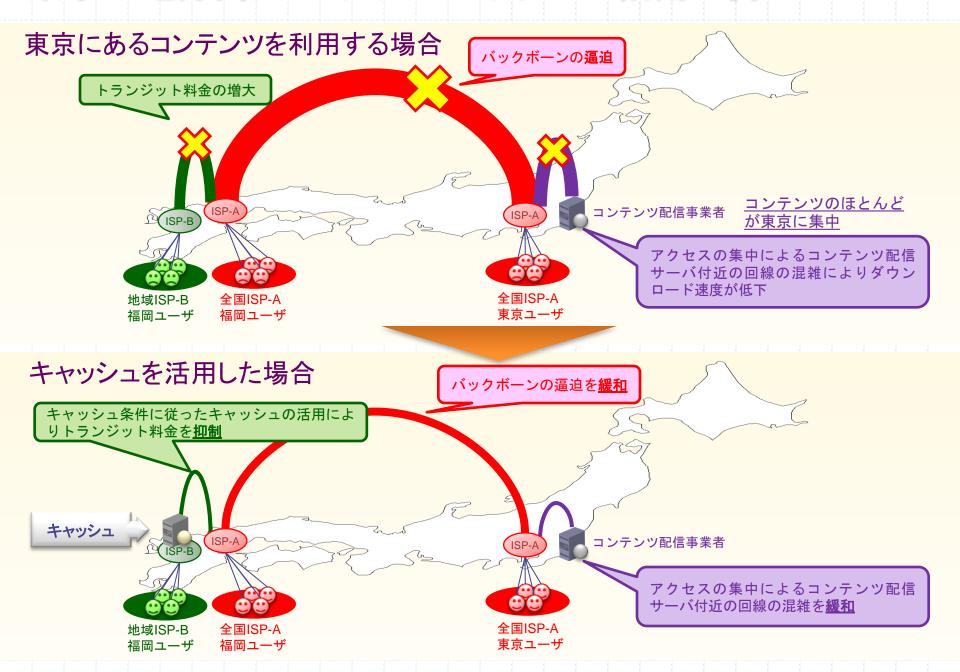
2009-定の成果

キャッシュによるNW効率化

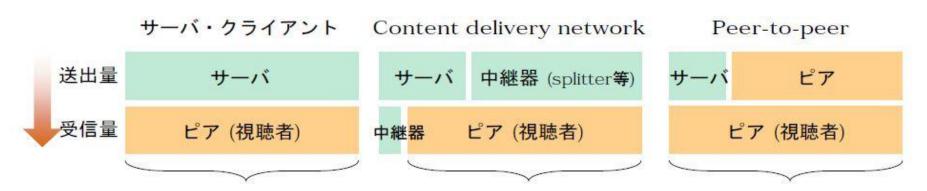
再度注目が集まるキャツシュ

- ▶技術自体は古い. なぜ今?
 - ■フラッシュ等コンテンツの肥大化.
 - ■2010/01施行の改正著作権法によるキャッシュの合法化.
- 世界での導入状況
 - ■トランジットが高い国ではフォワードキャッシュ
 - ■そうでもない国(アメリカ、日本、ヨーロッパ等)ではリバースキャッシュの導入が進んできた。
 - ■今後国内でも地方ISP/CATVでのニーズが高まる.
 - ■YouTube等に関しては国内でも一般的需要あり.

東京~地方間トラフィックへのキャッシュ活用の例



受信トラフィックの総量は同じ



どの方式を使おうと、受信トラフィックの総量は同じ

例: 1 Mbps を 1,000人が受信すれば、1,000 Mbps = 1 Gbps

注

- CDN では、視聴を行わない中継器による受信の分、総受信量が 多い。ここでは無視。
- peer-to-peerでは、制御のための通信が必要となるので、その分、 若干通信量が増える。通常、数%。
 - 例: BitTorrentでの、ピアとトラッカ間通信

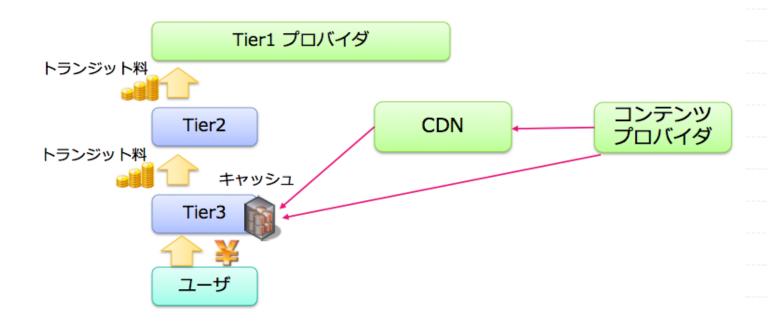
UTAGOE 首藤さんのプレゼン資料(2008/2/19)より抜粋させて頂きました

キャッシュをどこに配置するか?

キャッシュの可能性

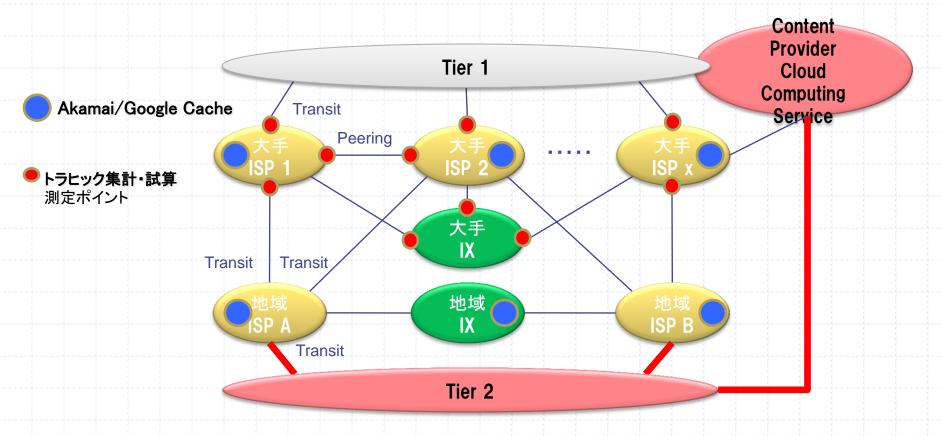
- コンテンツをユーザの近くに置くことで…
 - ユーザの体感速度向上
 - コスト削減

が可能か?誰が設置するか(ISP?, CDN?, CP?)?



トラフィック測定から見えて来た課題

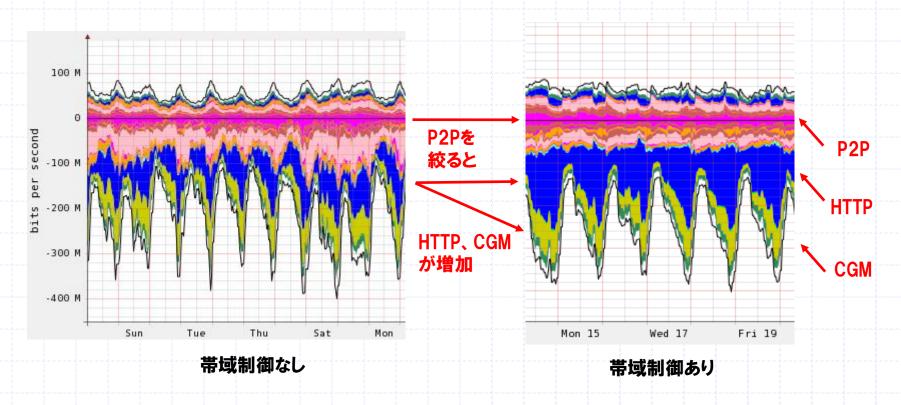
- ●大手IXを通らないトラヒックが増加している?
 - ●Hyper Giantsと直接peerしたTier2 ISPのトランジット販売の増加
 - ●AkamaiやGoogleのCacheの地方展開、地方ISPの自前cache設置
- ●地域レベルでのトラヒック変動は把握できていない
 - ●地域折り返しトラヒックの増加
 - ●地域IXP + NTT-NGN 案4



キャツシュ実証実験結果

帯域制御だけではトラヒック対策は不十分?

- ▶P2Pを帯域制御した場合でも、トラヒックの総量は減少せず
 - P2Pが利用していた帯域をHTTP、CGMが占有
 - HTTP、CGMに対してキャッシュを実施することで、さらなるNWの効率利用が可能



トラヒック解析結果の比較

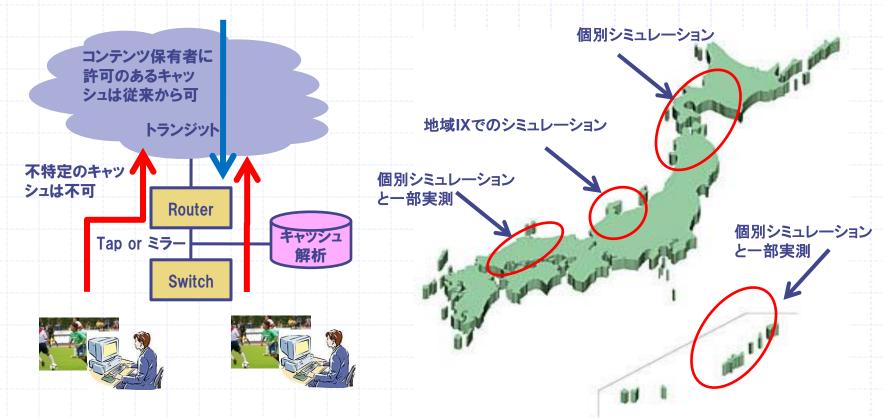
トラヒック対策パターン

パターン	概要	メリット	デメリット
1	回線増速	根本解決、検討不要	回線費用増加
2	大手IXでCPとPeer	IXでトラヒック解消	大手IXまでのL2費用、Latency
3	Googleキャッシュ設置	無料?トラヒック解消 Latency改善	Googleとの守秘、Blackbox Googleのみのキャッシュ
4	自前キャッシュ設置	トラヒック解消 Latency改善	キャツシュ装置コスト



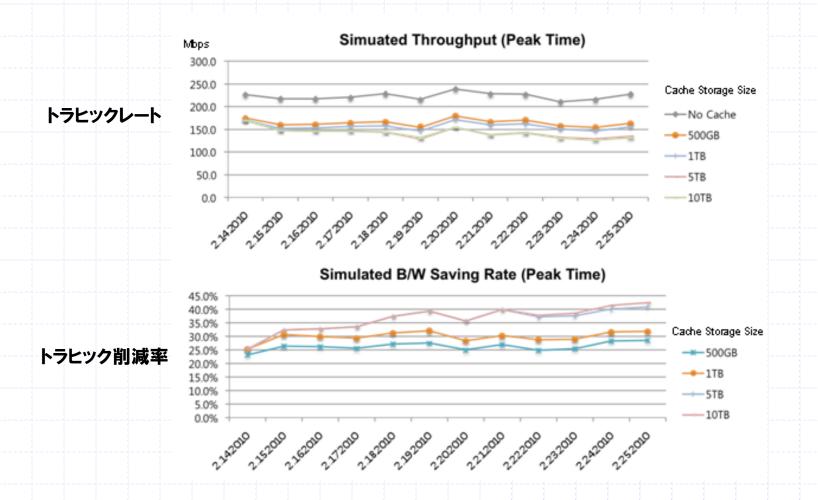
キャツシュ効果測定

- ▶著作権法改正(2010年1月)により、キャッシュを多くのシーンで利用可能
- ▶ 増加傾向をたどるHTTP Flash (Youtubeや二コ動など) に対するNW効率化
- ▶ H21年度 キャッシュシミュレーション
- ▶ H22年度 キャッシュ実測



キャッシュシミュレーション事例

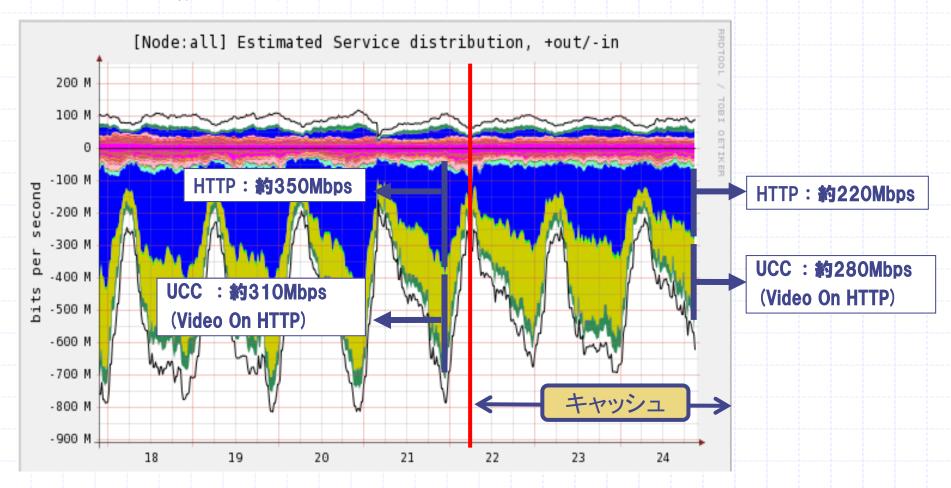
- ▶ISP単体で見た場合HTTP,CGMに対し30%~40%のトラヒック削減効果あり
 - キャッシュ効果はストレージの容量が関係
 - 蓄積するコンテンツが多いほどキャッシュヒット率が向上



キャッシュ実証事例1-1

▶ユーザ数万人のISP/CATVにてキャッシュ効果を1ヶ月程度確認 160M削減

■ P2P帯域制御を実施の後にキャッシュを適用



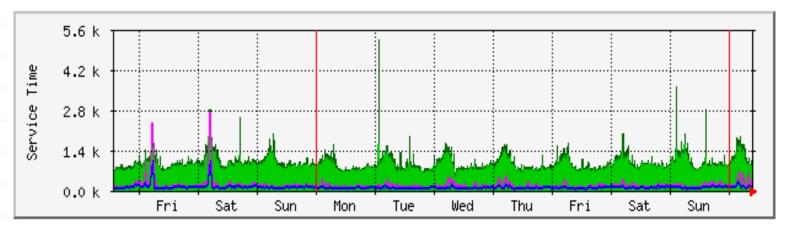
Webトラフィック削減効果:1-(220Mbps+280Mbps)/(350Mbps+310Mbps)=25%

キャッシュ実証事例1-2

▶Latencyは向上

- 回線価格は、複数社競合させる、新技術などで削減できる要素
- Latencyについてはこれまで対処方法が無かったが向上させることができる

`Weekly' Graph (30 Minute Average)



Average: 5259,0 msec

Max

899.0 msec

780.0 msec

Current

Hit: 2701.0 msec

102.0 msec

87.0 msec

クライアントへのレスポンスが平均で約9倍以上向上

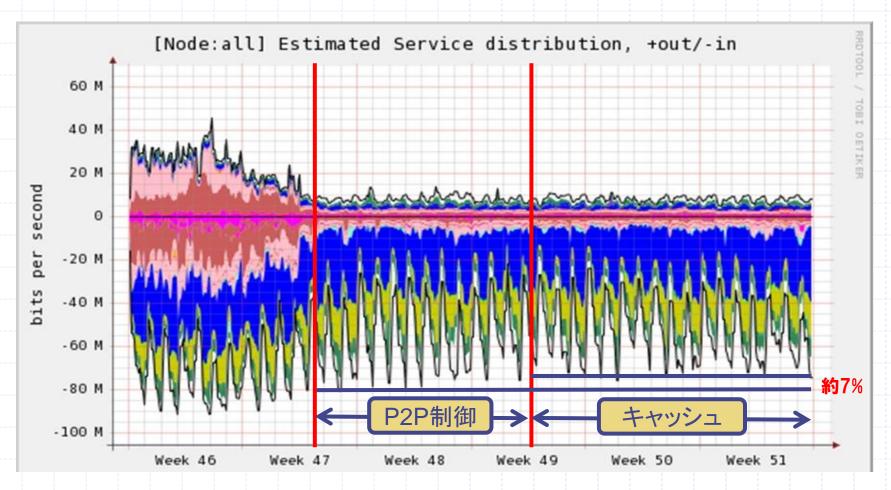
転送料上位ドメイン

▶全てキャッシュするのでは無く、上位20サイトほどの対応で効果は決まってくる?

ドメイン名	削減率	転送Gbyte数	転送割合	httpリクエスト数	httpリクエスト割合	
合計	26.1%	62,295	100.0%	1,270,362,491	100.0%	
youtube.com	34.0%	15,212	24.4%	11,293,530	0.9%	
nicovideo.jp	23.9%	3,114	5.0%	0.755.477	0.80/	
yahoo-streaming.jp	0.0%	2,345	3.8%	Vou	tubeが25%程度	
fc2.com	14.2%	2,270	3.6%			•
hotfile.com	4.1%	1,501	2.4%		ニコ動画、Gyaoなど	
apple.com	39.5%	1,352	2.2%	どのISI	P/CATVも近い状況	
fileserve.com	4%	1,269	2.0%	1 40.,004	·	
xvideos.com	16.0%	1,235	2.0%	4,913,784	0.4%	
megaupload.com	8.8%	1,157	1.9%	1,306,580	0.1%	
googlevideo.com	25.4%				<u> </u>	
yimg.jp	83.7%		最近の	特徴は		
dmm.co.jp	3.8%					
della mana Cara a cara						
dailymotion.com	25.5%	•	ノアイル ハ	有サービス		
asg.to	25.5% 5.7%		ノアイル ス	イサーに入		
,		537	0.9%	706,145	0.1%	
asg.to	5.7%				0.1%	
asg.to	5.7%	537	0.9%	706,145		
asg.to Ilnwd.net megavideo.com	5.7% 16.6% 30.4%	537	0.9%	706,145 1,099,573	0.1%	
asg.to llnwd.net megavideo.com yahoo.co.jp	5.7% 16.6% 30.4% 16.7%	537 537 490	0.9% 0.9% 0.8%	706,145 1,099,573 46,330,256	0.1%	
asg.to llnwd.net megavideo.com yahoo.co.jp rapidshare.com	5.7% 16.6% 30.4% 16.7% 0.2%	537 537 490 463	0.9% 0.9% 0.8% 0.7%	706,145 1,099,573 46,330,256 69,229	0.1% 3.6% 0.0% 0.2%	マイル共有
asg.to linwd.net megavideo.com yahoo.co.jp rapidshare.com playstation.net	5.7% 16.6% 30.4% 16.7% 0.2% 45.6%	537 537 490 463 459	0.9% 0.9% 0.8% 0.7%	706,145 1,099,573 46,330,256 69,229 1,939,669	0.1% 3.6% 0.0% 0.2%	-
asg.to Ilnwd.net megavideo.com yahoo.co.jp rapidshare.com playstation.net caribbeancom.com	5.7% 16.6% 30.4% 16.7% 0.2% 45.6%	537 537 490 463 459 443	0.9% 0.9% 0.8% 0.7% 0.7%	706,145 1,099,573 46,330,256 69,229 1,939,669 1,662,700	0.1% 3.6% 0.0% 0.2% 0.1% 0.0% 動	-

キャッシュ実証事例②

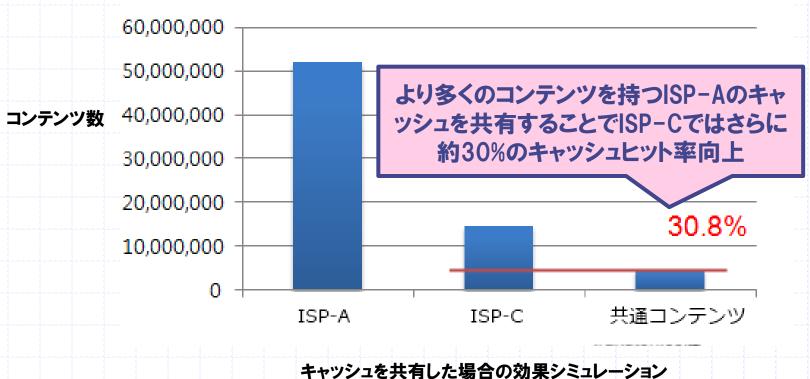
- ▶ユーザ数千人のISP/CATVにてキャッシュ効果を1ヶ月程度確認
 - P2P帯域制御を実施の後にキャッシュを適用



さらなる効率化のために キャッシュ連携

- ▶異なるISPのキャッシュを連携(共有)することでキャッシュヒット率が向上
 - キャッシュの共有により、多くのコンテンツを参照可能 ⇒ キャッシュのヒット率の上昇
 - ISPのキャッシュコストを共同負担するモデルもありうる

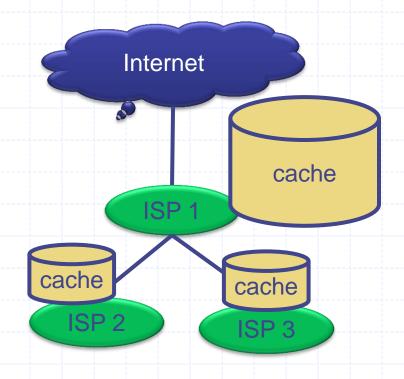
Number of Total Stored Contents

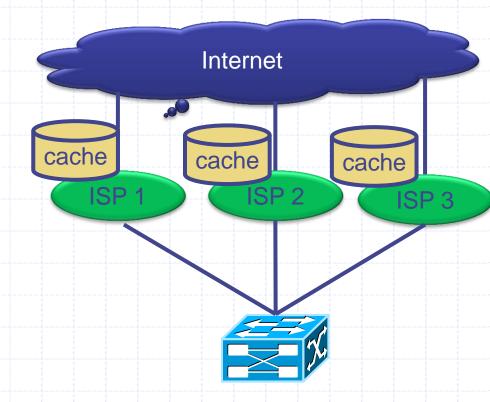


今後の実証実験予定1

キャッシュ連係

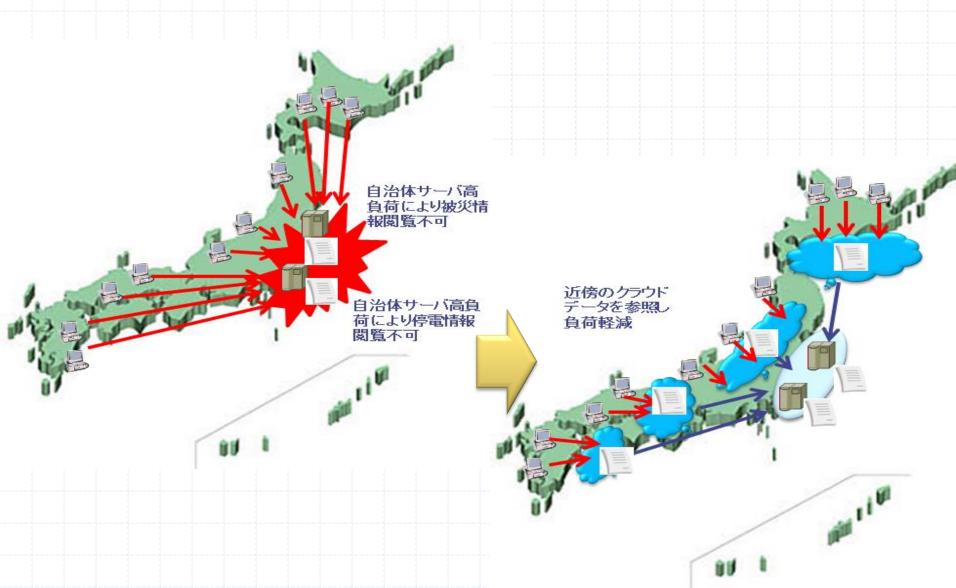
- インターネットトラヒックが集約されるポイントで連係
- 個別にキャッシュを持ちIXなどで連係





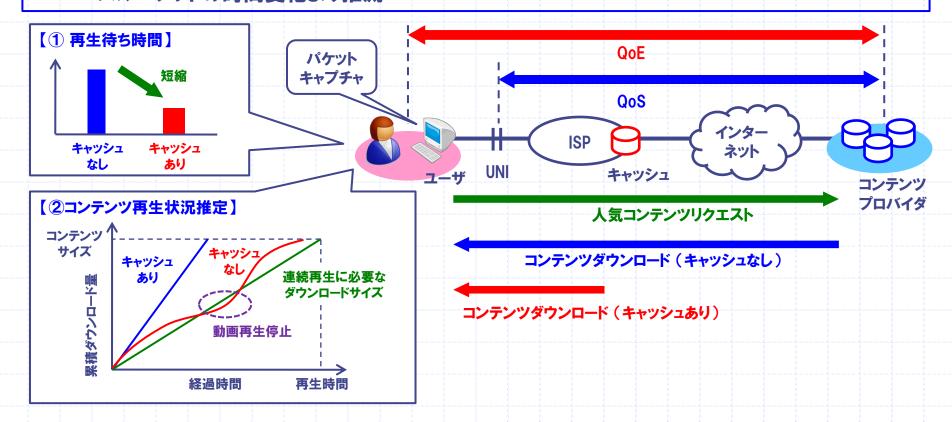
今後の実証実験予定2

トキャッシュの全国配置によるアクセス負荷の分散



今後の実証実験予定3

- ▶ QoE (Quality of Experience):ユーザが体感する品質
 - ネットワークレイヤで取得できる情報から、おおよそのQoEを推測可能
- ▶QoEの計測実験
 - キャッシュ導入前後で、ユーザ環境より人気コンテンツ(例: YouTubeで長期的に 人気のあるコンテンツ)を取得し、tcpdumpでパケットキャプチャ
 - QoE指標として、① 映像再生までの待ち時間、② コンテンツ再生状況を、配信遅延時間・スループットの時間変化より推測



ダミーノード測定環境

